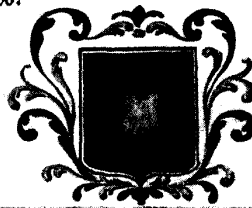




1. Regno /
2. Regnasti /
3. Sum signe regno /
4. Regnabo.



la plus du monde.



la plus du monde.

【图 1】 London, British Museum MS. Additional 17811, folio 2. *L'Estrif de Fortune et de Vertu*



【图 2】 London, British Museum MS. Additional 42133, folio 42vo. *Roman de la Rose*

Dr. Otto Mazal がDirektor der Handschriften— und Inkunabelsammlung である（1991年現在）。

ミュンヘンのバイエルン国立図書館の所在地：Bayerische Staatsbibliothek  
Postfach 34 01 50  
W-8000 München 34  
Germany

パリの国立図書館の所在地：Bibliothèque Nationale  
SERVICE PHOTOGRAPHIQUE  
58, rue de Richerieu  
75084 Paris Cedex 02  
France

ハーグのオランダ国立図書館の所在地：Koninklijke Bibliotheek  
Department of Special Collections  
p/o box 90407  
2509 LK The Hague  
Netherlands

スコットランドのグラスゴー大学図書館の所在地：Glasgow University Library  
Hillhead Street  
Glasgow G 12 8QE  
Scotland

Dr. T. D. Hobbs がKeeper of Special Collections である（1991年現在）。

ロンドンの大英図書館の所在地：The British Library  
Photographic Service  
Great Russell Street  
London WC1B 3DG  
England

いくなれば、中世の庶民に流布していた「運命」の主題が「視覚言語」<sup>24</sup>としての細密画の観点から一段と活発に研究されるのではないだろうかと思ひ、このような論を展開した次第である。

(1992年5月1日受理)

【付録1】なお、日付は1991年であることを断っておく。

1 フラン	24.04円 (5月13日現在)	54.80 F = 約 1317円
		758.86 F = 約 18243円
		50.00 F = 約 1202円
1 オーストリアシリング	11.40円 (6月11日現在)	48.00 ÖS = 約 547円
		1100.00 ÖS = 約 12540円
1 ドイツマルク	80.62円 (5月13日現在)	6.00 DM = 約 484円
		7.50 DM = 約 605円
1 オランダフローリン	68.12円 (7月9日現在)	5.00 Dfl = 約 341円
1 ポンド	235.86円 (8月14日現在)	70 P = 約 165円
		4.10 £ = 約 967円
		7.15 £ = 約 1686円

## 【付録2】

シャンティイのコンデ美術館の所在地：INSTITUT DE FRANCE — Musée Condé  
Château de Chantilly  
BP 243 60631 CHANTILLY Cedex  
France

Amélie Lefébure が Le Conservateur des Collections である (1991年現在)。

PHOTOGRAPHIE GIRAUDONの所在地：PHOTOGRAPHIE GIRAUDON  
92, rue de Richelieu — 75002 Paris  
France

ウィーンのオーストリア国立図書館の所在地：Österreichische Nationalbibliothek  
Handschriften- und Inkunabelsammlung  
A-1015 Wien, Josefsplatz 1  
Austria

---

24 細密画を「視覚言語」とみなす考え方は、R. ウィルトカウアー著、大野芳材・西野嘉章訳『アレゴリーとシンボル：図像の東西交渉史』、p. 146を参照。

確認の一手立てとして、写本が競売にかけられる時に作成されるその内容・装飾・来歴を記したカタログに注意を払っておくことがあるだろう。二、三の事例を紹介しよう。Thompson Collection XCI (ボッカッチョ写本)<sup>21</sup> は、1929年12月3、4日の競売用に作られたカタログ *Manoscritti dal Secolo IX al XVI* (Milano: Libreria Antiquari U. Hoepli, 3-4 decembre, 1929) の No.23 において紹介され、folio 170 に出る (Boccaccio の面前に出現した Fortune の) 細密画が Tavola LI として掲載されている。<sup>22</sup> 1965年11月30日の競売用に作られたカタログ *Bibliotheca Phillippica New Series: Medieval Manuscripts Part I* (London: Sotheby & Co., 1965) の Lot 27 には、かつて Sir Thomas Phillips が所蔵していた写本 (Honoré Bonet 写本) が紹介され、folio 2vo に出る Fortune の細密画が Plate 21 として掲載されている。また、1973年3月21日の競売用に作られたカタログ *Manuscrits enluminés et livres rares: Collection Robert Danon* (Paris: Drouot, 1973) の No.5 には、Robert Danon が所蔵していた写本 (マルタン・ル・フラン写本) が紹介され、folio 78 に出る Fortune の細密画が解説の次ページに掲載されている。写本の競売はチューリッヒ、パリ、ロンドンなどで頻繁に行われているので、この方法は個人所蔵の写本に出る Fortune の細密画を確認するためには有益であると思う (もし別な方法を御存じの方は一報下されば幸いです)。

**結語.** この数十年間に海外で出版された著書・定期刊行雑誌を調べてみると、Fortune の細密画はかなり複製されているようである。このことは、「運命」に関する<sup>テーマ</sup>主題が、海外においては、文学の分野だけでなく美術史の分野でも大いに研究されていることの表れとみなせるだろう。日本国内においてはどうか。最近出版された著書・定期刊行雑誌に目を留めてみると、

(10) 柳宗元・中森義宗編『キリスト教美術図典』(吉川弘文館, 1990), 図412

(11) 『ユリイカ』(青土社, 1991年9月号), 図4 (p.207)

(12) 『イマージ』(青土社, 1992年3月号), 図25 (p.148), 図26 (p.147)

において4点の Fortune の細密画を確認することができる。<sup>23</sup> 徐々にではあるが、細密画を利用した研究が日本にも芽生えてきているようである。このような実情なので、仮に Fortune の細密画の調査・探究方法とその入手方法を知る読者(若手研究者)が増えて

21 Thompson Collection XCI に Fortune の細密画が出るという情報に関しては、*A Descriptive Catalogue of Twenty Illuminated Manuscripts Nos. LXXV to XCIV in the Collection of Henry Yates Thompson* (Cambridge, 1907), pp. 136-139; Tamotsu Kurose, *Miniatures*, あとがきを参照。

22 folio 65vo に出る (Fortune と Poverty の争いの) 細密画は、残念ながらこのカタログ *Manoscritti* には掲載されていない。

23 残念ながら、Fortune の細密画の出る写本の所在地・番号・枚数が明確に記されていない。図412 は Glasgow, Hunterian Museum MS. Hunter 371 (= V. 1. 8), folio 1; 図4 は London, British Museum MS. Additional 10294, folio 89; 図25 は Bruxelles, Bibliothèque Royale MS. 9510, folio 1; 図26 は Genève, Bibliothèque Publique et Universitaire MS. Fr. 182, folio 198 である。

## PHOTOGRAPHY

Black and White		New	Prints from
Prints		Photography	Existing Negative
	127×178mm    5×7 in	£ 13.25	£ 6.20
	254×203mm    10×8 in	£ 13.50	£ 6.45
	any size up to		
	508×406mm    20×16 in	£ 16.90	£ 9.85
Colour		New	Duplicate
Transparencies		Photography	Transparency
	35mm slides	£ 7.15	£ 4.10
	127×102mm    5×4 in	£ 24.50	£ 19.65
Colour		New	Prints from Existing
Prints		Photography	Transparency
	254×203mm    10×8 in	£ 36.00	£ 13.00
	305×381mm    12×16 in	£ 48.00	£ 25.00
Other sizes may be ordered by arrangement.			

5. かつて個人に所蔵されていた<sup>あまた</sup>数多の写本は、少なくとも三通りの運命をたどっていく。(ア) 公的機関にそのままCollectionとして管理・保存されている。(イ) 公共図書館・美術館に寄贈あるいは購入されていく。(ウ) 競売にかけられ、個人から個人へと所有者が移っていく。このことに関しては、例えば、Trustees of the Wallace Collection 発行のカタログ *Wallace Collection: Catalogue of Illuminated Manuscript Cuttings* (London, 1980), Robert Harleyの収集した写本が今日BLに所蔵されている事実、そしてRobert Danon Collection No. 5 がJoseph Barrois → Lord Ashburnham → A. Bordes → M. Loncleへと所有者が移動している事実<sup>20</sup>を指摘すれば理解してもらえるだろう。前に述べたように、(イ) の場合には写本を直に閲覧することも可能であろうし、またその複製を入手することも可能であろうから問題はないが、(ウ) の場合には写本の所有者の知人でもなければ、閲覧の可能性は皆無といってよい。では、このような写本のなかにFortune の細密画が出る情報を得た場合に、我々探究者にはそれを確認する方法は残されていないのであろうか。

20 See PROVENANCE in *Manuscripts enluminés et livres rares: Collection Robert Danon* (Paris: Drouot, 1973), No. 5.

る返答を受け取った。この内容に基づいて、各図書館・美術館の複製提供に関する情報を紹介しよう。なお、情報はこの論文を執筆した時期よりも約一年古いものなので、現段階（1992年4月）では値段が変わっているかもしれないことを断っておく。

**シャンティイのコンデ美術館：** 写本の複製作業は美術館内では行われない。コンデ美術館に所蔵された写本に出る細密画を欲しい場合は、美術館の写本管理人の紹介状を添えてPHOTOGRAPHIE GIRAUDONに再度申請することになる。そこに‘diapositives’（35mmスライドのこと）の在庫がある場合は、1枚54.80フランで購入できるが、在庫がない場合は、‘Ektachrome’（エクタクローム）<sup>19</sup>を作ったのちに35mmスライドを作るようなので、撮影料込みで1枚 758.86 フランになる。**ウィーンのオーストリア国立図書館：** 写本管理人Otto Mazal博士の手紙に

...die Österreichische Nationalbibliothek aus konservatorischen und technischen Gründen keine Kleinbild-Diapositive (slides, 35mm) von Handschriften und kostbaren Büchern liefern kann....

と述べられているように、貴重本の保存と技術上の理由から‘Kleinbild-Diapositive’（35mmスライド）による写本の複製を1枚も提供してもらえない。ただし、彼は次の方法ならば可能であると言う。（ア）白黒写真による。この場合、1枚 48.00オーストリアシリング要する。（イ）エクタクロームを売ることにはできないが、（1枚に付き）約1100オーストリアシリングの手数料を払うならば、3ヶ月間だけエクタクロームを貸すことができる。（ウ）研究目的のためならば、写本の数葉に関しては、‘Papier’（紙）に引き伸ばしたものを提供できる。**ミュンヘンのバイエルン国立図書館：** ‘Duplikate können leider nicht ausgestellt werden’ と述べられているように、残念ながら写本の複製（35mmスライド）は提供してもらえないが、‘Fotopapier’（白黒写真）によって注文した細密画を入手出来そうである。この場合、1枚 6.00ないし7.50 ドイツマルク要する。次の3つの図書館は私の注文に快く応じてくれたので、情報は35mmスライドだけである。**パリの国立図書館：** 1枚 50フラン要する。**ハーグのオランダ国立図書館：** 1枚 5.00フローリン（Dfl）要する。**スコットランドのグラスゴー大学図書館：** 1枚 70 ペンス要する。**大英図書館（BL）**に関しては、調査の時にThe Photographic Service（April 1990）を手に入れたので、その情報を記しておく：

---

19 エクタクロームとはコダック社のリバーサイドフィルム（スライド用フィルム）のことである。

のような索引・目録を利用して、運命に関係ありそうな写本群、例えば、ボエティウス写本群、ボッカッチョ写本群、マルタン・ル・フラン写本群等を徹底的に調べた。徒労に終わるかもしれないという不安な気持ちに襲われながらも、退屈な作業にかなりの時間を費やし、幸いにも、私は今回の調査でAdditional 17811, folio 2【図1】；42133, folio 42vo<sup>17</sup>【図2】の2点——発見といえるかどうかは定かでないが——を新たに用例の中に加えることができた。

3. ハーグのオランダ国立図書館、ウィーンのオーストリア国立図書館並びにパリの国立図書館等に所蔵された写本においてFortuneの細密画を探究する場合も同様である。第二段階として、

(7) J.P.J.Brandhorst en K.H.Broekhuijsen—Kruijer, *De verluchte handschriften en incunabelen van de Koninklijke Bibliotheek* ('s-Gravenhage, 1985).

(8) Otto Pächt and D.Thoss, *Die Illuminierten Handschriften und Inkunabeln der Österreichischen Nationalbibliothek: Französische Schule I* (Wien: 1974).

(9) Bibliothèque Nationale, *Les Manuscrits a Peintures en France Du XIII<sup>e</sup> au XVI<sup>e</sup> Siècle* (Paris, 1955).

のような複製集に目を通して文献の調査範囲を広げていくことになるだろう。この事柄に関しては、各図書館で調査を行っていないので今後の課題として提起するだけにとどめ、詳述を避ける（興味のある人は私の作成したリストを参照することをすすめる）。

4. Fortuneの細密画の出る写本の所在（各地の図書館・美術館）さえ確認できれば、その複製——白黒写真であれ、カラー写真であれ、35mmスライドであれ——を入手するために、わざわざ現地に行き、写本複製の申請用紙に記入して係員に申し込む必要などない。日本国内から用件の手紙（英語で可）を書いて注文すれば、図書館・美術館に拒否されない限り、<sup>18</sup> 入手したい写本の一部（ここでは、Fortuneの細密画の複製）を難無く得ることができる。リストを作成した後、金銭的な余裕ができたので、私は7つの図書館・美術館に「身元を明確にして、あなたがたの図書館に所蔵されている写本のなかに私の欲しい細密画があります。その35mmスライドを得る方法を教えてくださいませんか」という主旨の手紙を書いた。数週間が経過した後に、独語・仏語・英語で書かれた入手手続き等に関する

17 folio 34に出るFortuneの細密画の情報に関しては、Fritz Saxl and Hans Meier, p. 88を参照。

18 黒瀬『図像集』のあとがき(p. 339)を見よ。彼は「所蔵図書館が図像の複製を提供してくれない場合もあった」と述べて、Venice, Bibl. Marciana, Franç. 44, folio 1; Valencia MS. 387, folio 42vo等をあげている。

を参照すると、さらに7点追加できた。

Additional 11355, folio 79; 31840, folio 40vo; 39658, folio 1vo; 42133, folio 34  
Harley 621, folio 71; 3577, folio 167vo  
Royal 18 D VII, folio 52

これら三冊の著書に加えて、他の文献も参照してみたけれど、<sup>16</sup> 私が調査した範囲内では、上にあげたもの以外には同じ細密画（の情報）を収集できるだけで新たな用例を発見することはできなかった。このように複製集を基礎にして過去に出版された文献を調査し、それぞれの用例の不足部分を補いながら整理・分類してみると、BLに関しては、40点を得ることができた。

この情報の価値を認めて、写本を実際に見てみると、Additional 10294, folio 14 には Fortune の細密画は出ない。また11866, folio 6vo には“FORTUNA”ではなくて“FORTEZA”と記されている。おそらく編者の誤解によってこの絵は Fortune の分類に入れられたのであろう。Harley 4431, folio 131 は“folio 129”の誤植である。因に、Harley 7353は数種の絵からなる、筒に入れられて保管された、巻き物状の写本であり、Fortune（ここではFato）は絵の右上に車輪と一緒に描かれている。この結果、様々な文献から得られる情報のなかで信頼できる用例数は37点であることを確認できた。

情報の確認を終了した後、具体的に細密画の開拓を行おうと、手始めに、Students' Roomにある Subject Index to Illumination のボックスにおいてFortune の索引カードを見たが、ここから得られるAdditional 10294, folio 89; 31840, folio 40vo; Harley 4376, folio 271; Royal 18 D II, folio 30vo; Stowe 54, folio 197 の5点は前述の文献の情報にすぎなかったもので、残念ながら何の役にも立たなかった。次に、書棚に備え付けの

(5) *Index of Manuscripts in The British Library I-X* (Cambridge: Chadwyck-Healey, 1984-86)

(6) *A Catalogue of the Harleian Manuscripts in the British Museum I-IV*

---

16 例えば、Pierre Courcelle, *La Consolation de Philosophie dans la Tradition Littéraire: Antécédents et Postérité de Boèce* (Paris, 1967) においては、Additional 10341, folio 31vo [Plate 76 (1)]; Additional 21602, folio 23 [Plate 74 (3)]; Harley 4336, folio 1vo [Plate 87]; Harley 4338, folio 1vo [Plate 91]; Royal 19 A IV, folio 13vo [Plate 74 (1)] を見出せる。Millard Meiss, *French Painting in the Time of Jean de Berry: The Limbourgs and Their Contemporaries* (London, 1974) においては、Royal 20 C IV, folio 77vo [Fig. 71]; Stowe 54, folio 197 [Fig. 84] を見出せる。他に関しては、私が作成した“A LIST OF MINIATURES”を参照して下さい。



Additional 10294, folio 89; 10341, folio 31vo; 11696, folio 71; 15434, folio 6;  
21602, folio 23; 35321, folio 67, 180; 47682, folio 1  
Cotton Tib. A. VII, folio 58vo, 59vo  
Harley 621, folio 217; 4336, folio 1vo; 4338, folio 1vo; 4373, folio 14; 4431,  
folio 129  
Royal 14 E V, folio 113vo, 291; 16 F IV, folio 3, 38vo; 18 D II, folio 30vo;  
19 A IV, folio 13vo; 20 C IV, folio 1, 77vo, 198; 20 D I, folio 163vo  
Stowe 54, folio 197

BLに所属された膨大な写本において、彩色写本だけに焦点をあてて編まれた最初の索引<sup>14</sup>

- (3) Walter de Gray Birch, F.R.S.L. and Henry Jenner, *Early Drawings and Illuminations: An Introduction to the Study of Illustrated Manuscripts; with a Dictionary of Subjects in The British Museum* (London: Samuel Bagster and Sons, 1879).

を利用する (p.126) と、新たに7点追加できた。

Additional 10294, 14; 11866, folio 6vo  
Harley 4376, folio 271; 4425, folio 57; 4431, folio 131; 7353  
Royal 20 C VIII, folio 2vo

また、Fritz SaxlとHans Meierによって作成されたカタログ<sup>15</sup>

- (4) *Catalogue of Astrological and Mythological Illuminated Manuscripts of the Latin Middle Ages: Manuscripts in English Libraries III. 1-2* (London:

---

14 p. 126 において見出せる用例は次の通りである：

Additional 10294, folio 89, 14; 10341, folio 31vo; 11866, folio 6vo; 21602, folio 23; Cotton Tib. A. VII, folio 59vo; Harley 621, folio 217; 4373, folio 14; 4376, folio 271; 4425, folio 57; 4431, folio 131; 7353; Royal 14 E V, folio 291; 16 F IV, folio 3, 38vo; 18 D II, folio 30vo; 20 C IV, folio 1, 77vo, 198; 20 C VIII, folio 2vo.

15 III. 1 (pp. 8-272)において見出せる用例は次の通りである：

Additional 10294, folio 89; 10341, folio 31vo; 11355, folio 79; 11696, folio 71; 15434, folio 6; 21602, folio 23; 31840, folio 40vo; 35321, folio 67, 180; 39658, folio 1vo; 42133, folio 34; Cotton Tib. A. VII, folio 58vo, 59vo; Harley 621, folio 71, 217; 3577, folio 167vo; 4336, folio 1vo; 4338, folio 1vo; 4373, folio 14; 4376, folio 271; 4425, folio 57; 4431, folio 129; Royal 14 E V, folio 291; 16 F IV, folio 3, 38vo; 18 D II, folio 30vo; 18 D VII, folio 52; 20 C IV, folio 1, 77vo, 198; 20 C VIII, folio 2vo; 20 D I, folio 163vo; Stowe 54, folio 197.

ると予想されるからである。一例として、Millard Meiss, *French Painting in the Time of Jean de Berry: The Limbourgs and Their Contemporaries* (London, 1974) を参照すると、Chantilly, Musée Condé MS. 494, folio 13 (Fig.1); folio 16 (Fig.20) を、また数冊の著書を見ると、<sup>11</sup> Brussels, Bibl. Royale MS. 9392, folio 77vo; 9510, folio 1; 10220, folio 2 を見出せる事実を指摘すれば納得してもらえよう。このように、複製集を基礎にして文献の調査範囲を広げていくことで、一段と満足の行く成果を期待できる場合がある。

だが、文献の調査範囲を拡大してもある程度用例を収集すると、同じ細密画を頻繁に見出せるだけになってくる。また、用例数を増やそうと数多くの文献に当たると、用例の情報に対してどちらに信頼を置けばよいのか判断に迷うような場合も出てくる。例えば、同じ用例であるが、“British Museum MS. Royal 14 E V, folio 291” の場合、Paul Durrieu, *La Miniature Flamande au Temps de la Cour de Bourgogne (1450–1530)* と Samuel C. Chew, *The Pilgrimage of Life* には“folio 271”と記されているが、Fritz Saxl and Hans Meier, *Catalogue of Astrological and Mythological Illuminated Manuscripts of the Latin Middle Ages: Manuscripts in English Libraries III.2* には“folio 291”と記されているからである。<sup>12</sup> 文献の調査範囲を拡大して細密画の用例収集に限界を感じてきた時に、新たな用例を少しでも開拓しようと思い、且つ、情報の正誤を確かめたいという衝動に駆られる研究者もいることだろう。このような意気込みを持った時にはじめて、直に図書館・美術館に行って調査・探究を進めねばならない。これが細密画探究の最終段階である。<sup>13</sup>

2. これまでの見解を十分に理解してもらえるように、BLのStudents' Roomにおいて私が試みた調査・探究を例に取り上げて説明しよう。BLにおけるFortuneの細密画探究は、その情報提供だけでなく、具体的に絵を掲載している黒瀬氏の『図像集』が重宝であった。これによって、26点確認できた。

11 MS. 9392, folio 77voに関しては、J. Van Den Gheyn, *Christine de Pisan: Épitre D'Othëa, Déesse de la Prudence a Hector, Chef des Troyens. Reproduction des 100 Miniatures du Manuscrit 9392* (Bruxelles, 1913), Planche 74; Raimond Van Marle, *Iconographie de l'art profane au Moyen-Age et à la Renaissance* (The Hague: Martinus Nijhoff, 1932), Fig. 220を参照。MS. 9510, folio 1に関しては、Alphonse Bayot, *Martin Le Franc: L'Estrif de Fortune et de Vertu* (Bruxelles, 1928), Frontispiece; Geores Dogaer, *Flemish Miniature Painting in the 15th and 16th Centuries* (Amsterdam, 1987), Frontispiece等を参照。また、MS. 10220, folio 2に関しては、Charity Cannon Willard, *Christine de Pisan: Her Life and Works* (New York, 1984), p. 32; Patrick M. de Winter, *La Bibliothèque de Philippe la Hardi, Duc de Bourgogne (1364–1404)* (Paris, 1985), Fig. 175等を参照。

12 Paul Durrieu (Bruxelles et Paris, 1921), Planche LXVIの解説; Samuel C. Chew (1962; rpt. London: Kennikat Press, 1973), p. 317, note 3; Frits Saxl and Hans Meier (London: The Warburg Institute, 1953), p. 200 を参照。BLでの調査によると、枚数は“folio 291”が正しい。

13 Cf. 黒瀬保教授は1973年に大英図書館とオックスフォードのボドリアン図書館においてFortuneの細密画の探究を行われているが、直に写本を閲覧することで少なくとも次の用例を新たに発見されて『図像集』(1977)のなかに加えられているようである: London, British Museum MS. Royal 14 E V, folio 113vo [Plate 36]; British Museum MS. Royal 19 A IV, folio 13vo; [Plate 115]; Oxford, Bodleian MS. Douce 104, folio 53 [Plate 113]; Douce MS. 203, folio 105vo [Plate 98]. この主張の根拠としては、「Icon研究センター—The Warburg Institute—」(*The Rising Generation*, CXIX, No. 10, 19–20)に記されているように、彼はFritz Saxl and Hans Meierの著書から双方の図書館に関する細密画の情報を得ているようであるが、そのなかに上記の用例が含まれていないことがあげられよう。

う。金銭的にそこに行く余裕がない者は、両索引を活用して編集された黒瀬氏の『図像集』を丹念に参照すればよいだろう。だが、両索引にも用例の漏れが認められ、<sup>9</sup> Fortune の細密画の残余については、やはり探究者一人一人の調査努力に委ねられてくる。

第二段階として最も能率的な調査方法は、各地の図書館に所蔵された彩色写本の複製が掲載され、且つ、その他の細密画情報を提供してくれる図像集を見ることであろう。例をあげて説明しよう。

(1) Lacques Meurgey, *Les Principaux Manuscrits a Peintures du Musée Condé a Chantilly* (Paris, 1930).

(2) Camille Gaspar et Frédéric Lyna, *Les Principaux Manuscrits a Peintures de la Bibliothèque Royale de Belgique I – II* (1937; rpt., Bruxelles 1984, 1987).

(1)はシャンティイのコンデ美術館に所蔵された主要な彩色写本の複製集である。これを見ると、Fortune に関しては、5枚の細密画と2点のその情報を得ることができる。

MS. Fr. 312, folio 234 (Pl.LXVIII); 478, folio 1 (Pl.LXXXVI); 566, folio 1 (Pl.LXXXVII); 1512, folio 1 (Pl.LXXVII); Lat. 1561, folio 10vo (Pl.LXXIV)  
MS. 401, folio 76 (p.107); 665, folio 35 (p.43)

(2)はベルギーの王立図書館に所蔵された主要な彩色写本の複製集である。有り難いことに、この第一巻が1984年に、第二巻が1987年に再版されている。これを見ると、1枚の細密画と8点のその情報を得ることができる。

MS. II.1076, folio 82 (Pl.XXVIIIa)

MS. 9078, folio 221vo (I, no.212); 9294–9295, folio 221<sup>10</sup> (I, no.171);  
9543, folio 31 (I, no.88); 9548, folio 26 (I, no.90); 10228, folio 121 (I, no.73); 14682, folio 3 (I, no.94); 9508, folio 14, 17vo

二つの複製集によって幾分満足のゆく用例を得ることができると思う。だが、それぞれ一冊だけに調査の完全を期すのは危険である。なぜなら、双方の編者はFortune の細密画だけを調査・探究しているわけではないので、その用例収集にも当然見落としが有り得

9 Kurose, *Miniatures*, p. 4.

10 Alexandre de Laborde, *Les Manuscrits à Peintures de la Cité de Dieu de Saint Augustin* (Paris, 1909), I, p. 269 (No.16) によれば、枚数は“folio 219”である。

# Fortuneの細密画

## — 探究と入手方法 —

轟 義 昭

1990年4月28日に催された第6回中世英語英文学会西支部大会の特別講演において、黒瀬保教授<sup>1</sup>は、Fortuneの研究課題の一つとして、細密画リストの作成の必要性をあげられた。このことは、13年前に、『中世ヨーロッパ写本における運命の女神図像集』(*Miniatures of Goddess Fortune in Mediaeval Manuscripts*<sup>2</sup>)を編集されたにもかかわらず、その図像集の「調査の不備とイコン理解の知識の不足」<sup>3</sup>を氏が実際に認めておられるからだと思う。その講演を聞いてから数ヶ月の月日が経過したが、氏の主張が私の脳裏から去ることはなかった。弟子である私は氏(あるいは師)の意向を真剣に受け止め、ようやく1990年の夏季休暇(研修)を利用して<sup>4</sup>ロンドン大学内にあるウォアバーク研究所(Warburg Institute)<sup>5</sup>と大英図書館(以下、BL)<sup>6</sup>においてFortuneの細密画探究を試みた。そしてその材料を整理・分類して作成した資料が、些細なものではあるが、“A List of Miniatures of Goddess Fortune in Mediaeval Manuscripts”<sup>7</sup>である。これを論拠にして、Fortuneに関する細密画の調査・探究方法とその入手方法の一端を紹介しよう。

1. Fortuneの細密画に関する何の知識ももたずに各国の図書館に直接行って、所蔵された膨大な写本の中から運命に関係ありそうな写本群を手当たり次第に見ようとしても埒があかない。また、調査したくても制約によって思い通りの調査を許可しない図書館もある。<sup>8</sup>従って、Fortuneの細密画探究を始めたい初心者は、第一段階として、その細密画の出る番号・枚数を把握するために、ウォアバーク研究所並びにプリンストン大学に行き、前者の写真部門にある美術索引と後者のキリスト教美術索引を参照することが必要である

1 黒瀬保教授は1992年3月31日をもって西南学院大学を退官された。4月現在の身分は西南学院大学非常勤講師である。

2 Tamotsu Kurose, *Miniatures of Goddess Fortune in Mediaeval Manuscripts* (Tokyo: Sanseido, 1977).

3 *Ibid.*, i-ii.

4 私は1989年の夏にもウォアバーク研究所に行って調査を試みていたが、この時は、Fortuneに関するエンブレム(寓意画)の収集が目的であった。

5 黒瀬先生の友人である前所長のJ. B. Trapp 博士(1991年9月退任)のおかげで、私は自由にウォアバーク研究所の図書館内で調査を行うことができた。

6 黒瀬先生に書いてもらった推薦書(a letter of recommendation)のおかげで、私は大英図書館のStudents' Roomにおいて直に写本を閲覧できた。

7 Yoshiaki Todoroki, “A LIST OF MINIATURES OF GODDESS FORTUNE IN MEDIAEVAL MANUSCRIPTS,” 『鹿児島県立短期大学紀要』第41号(1990), 71-114.

8 例えば、パリの国立図書館。黒瀬先生の話によると、そこで写本を直に閲覧するためには、二人の保証人が必要のようである。余談になるが、先生の場合は、「保証人になってくれる人がいなかったが、三度目の手紙で、館長自らが保証人を引き受けられたので、ようやくFortuneの細密画の出る写本を直に閲覧できた」とのことである(先生の『図像集』編集の苦労話より)。